



2030年までに達成を目指す人類共通の17の目標についてアイコンと内容をみてみましょう!



あらゆる貧困を終わらせる

食べ物や水を十分に得られず、住むところにも困っている人が世界にはたくさんいます。一方で、日本のような国でも、ほかの人がしている『当たり前』の暮らしができず苦しんでいる人はいます。こうした貧困は、教育や医療、就職など、さまざまな問題を引き起こしています。『あらゆる貧困』をこの世からなくさなければなりません。



すべての人から『飢餓』をなくす

長い間食べることができず、栄養不足になってしまう状態を『飢餓』といいます。飢餓を終わらせ、子どもからお年寄りまですべての人が、栄養のある十分な食事をとることができるようにするのが目標です。地球の環境や生物多様性（さまざまな種類の生き物が幅広く存在すること）を守りながら、農業の生産量を増やしていくことが大切です。



すべての人が健康でいられるように

現代の医療で治るはずの病気を治せなかったり、ワクチンを得られないために感染症にかかってしまったりする人が、世界にはたくさんいます。すべての人が健康で、病気を予防でき、適切な治療を受けられる世界を目指します。交通事故による死傷・負傷者を減らすこと、汚染を減らしていくことも目標に含まれます。



誰もがちゃんと教育を受けられるように

教育を受ける権利は、みんなにあります。誰もが等しく質の高い教育や職業訓練を受けられるようにするためには、安全で通いやすい学校の設備を整えて、教える資格を持つ先生を増やす必要があります。読み書きや計算ができるようにすること、紛争や災害などの状況にあっても、子どもたちが教育を受けられることも重要です。



性を理由に差別されない

女性というだけで差別されることがない世界をめざします。女性への身体的、精神的な暴力をなくするのはもちろん、家事や子育てを分担し、妊娠や出産についての権利も守る必要があります。政治や経済の場に、女性が平等に参加することも求められています。とくに日本にとっては、改善しなくてはならないことがたくさんある目標です。



安全できれいな水を誰もが使えるように

日本のように、水道の水を安心して飲める国は、世界に少ししかありません。水と衛生的な環境をきちんと整備・管理して、すべての人が安全な水を使って、下水処理やごみ処理などの衛生設備が整った環境で暮らせる世界にしたいです。野外のトイレを無くすこと、水の再利用にしっかりと取り組むことも目標にしています。



環境にやさしいエネルギーをみんなに

電気やガスなどのエネルギーを、すべての人が安い価格で安定して使えるようにすることをめざします。限りある石油や石炭などのエネルギー源に頼らずに、太陽光や風、流れる水といった自然の力を使った『再生可能エネルギー』を増やし、エネルギーを効率よく使ったりすることも目標です。



人間らしい仕事と経済成長を同時に

経済成長のために、地球の環境を犠牲にしてしまってはけません。環境のことを考えた経済成長をめざすとともに、若者や障がい者を含むすべての人が、人間らしい働きがいのある仕事につくこと、子どもたちが仕事によって心と体を傷つけてしまう『児童労働』を完全に無くすことが、とても大事です。



新しい技術とインフラをつくる

私たちが生活するうえで必要な、道路や水道、電気、インターネットなどの設備・サービスを『インフラ』といいます。災害に強いインフラをつくり、誰もが参加できる経済発展を続けること、新しい技術を生み出していくことを目標にしています。企業が環境のことを考えた技術や製造工程などを取り入れることもめざします。



国と国、国の中の不平等を減らす

世界には、さまざまな格差や不平等があります。国と国の不平等や、国の中での不平等は減らす必要があります。格差をなくすために貧しい人の収入を優先して増やすこと、特定のグループを差別するような法律や慣習をなくすこと、先進国と開発途上国間の不平等をなくすことなどをめざします。



安心・安全で暮らしやすい町に

安全で住みやすい家、電気や水などの必要なサービスを誰もが利用できるようにします。子どもやお年寄りや障がい者など、弱い立場の人にとっても安心・安全で暮らしやすい町をつくり、大気汚染や廃棄物をしっかり管理しなければなりません。災害に強いだけでなく、災害が起きた後に回復しやすい強い町づくりが求められています。



ごみを減らし、資源をムダにしない

地球には、人間がつくり、人間が出たごみがあふれています。すべての国や人が、「つくること」「使うこと」に責任を持ち、資源をムダにしない社会をめざします。捨てられる食べ物の量を世界全体で半分に減らすこと、水や空気、土を汚さないこと、ごみを減らすこと、ものをつくるときに有害な化学物質を減らすことが目標となっています。



気候変動への対策をできるだけ早く進める

人間の活動が原因で、地球温暖化が進んでいます。地球がこれ以上温かくなると、台風などの自然災害が増えたり、北極や南極の氷がとけて海面が上昇したりして、人や生き物がすみかを奪われたりします。温室効果ガスを減らすのはもちろん、気候が変わることによる影響をふせぐなど、世界中の国が知恵を集めて取り組む必要があります。



豊かな海の「命」を守ろう

地表の約7割を占める海は、気候の安定に大きな役割をはたしているとともに、生き物に豊かな恵みを与えています。そんな海を、私たち人間は汚してしまっています。海の環境に悪い影響を与える汚染や、生態系を壊す違法な漁業をなくし、限りある海の資源を持続可能な形で利用するように努めなくてはなりません。



陸の動物・食物を守り、再生させる

森林や湿地、川などの陸の自然は、そこに暮らす生き物の命や私たち人間の生活を支えています。しかし、人間の生活が豊かになるとともに、その環境が破壊されています。絶滅の危機にある陸の生き物の多様性や森林などの自然を守り、再生させ、正しい方法で利用していく必要があります。



平和で公正な社会を実現する

世界では紛争などの争いごとがたくさん起きています。世界中にあるそうした暴力と、暴力による被害者を減らすことを目標にしています。誰もが参加できる平和な社会をつくり、公正な法律にもとづいた暮らしができるように、力を合わせてとりくまなくてはなりません。



みんなで協力して目標を達成する

SDGsにかかげられた17の目標は、さまざまな分野にわたっています。それぞれの国が努力してとりくむ必要がありますが、国と国が手を結ばなければ実現しないこともたくさんあります。国だけではありません。企業や地域、家庭や個人など、世界のみなが協力しあって、課題を解決していくことが大事なのです。



『世界をよくするために、何かをしよう』

と言われても、話が大きすぎてイメージできないですね。17の目標がありますが、全てにとりくむ必要はありません。自分ができる簡単なことから始めてみればいいのです。さて何をすればいいのでしょうか。次号から一緒に考えましょう!

イラスト：ソフトバンクニュースより